

47	ふる古	どの殿	まち町	コード番号	075051	類型	I - 1					
町章	町章	所在地	〒963-8304 石川郡古殿町大字松川字新桑原31番地		区分	人口	うち15歳未満人口	うち65歳以上高齢者人口	世帯数	うち高齢者単身世帯数	面積	
		所在地標高	海拔 301.00m		H17年調	6,511人	913人	1,929人	1,764世帯	108世帯	163.29km ²	
		T E L	0247-53-3111	F A X	0247-53-3154	H22年調	6,030人	769人	1,875人	1,728世帯	148世帯	人口密度
		U R L	https://www.town.furudono.fukushima.jp/			H27年調	5,373人	629人	1,796人	1,661世帯	185世帯	28人/km ²
キャッチフレーズ	みんながいつも元気でいられる活気あふれる町											
町花	やまゆり				PRキャラクター							
	町木	すぎ				やぶさめくん	産業別就業人口 (R2年国調)		2,420千円		県下44位	
町鳥	きじ				PRキャラクター							
区分	氏名(ふりがな)	任期満了日	報酬(月額)		有権者数 R8.3.1	男	1,933人	女	1,887人	計	3,820人	
町長(6期)	おかべみつのり 岡部 光徳	令和9年4月30日	758.0千円		議員	(旧)法定上限	18人	条例定数	10人	衆議院議員選挙区		
副町長	すずき 木 一彦	令和12年3月31日	607.0千円		議員	現員	10人	任期	令和10年3月30日	第2区		
議長	あざのり 川 栄 一	令和10年3月30日	304.0千円		町の沿革							
副議長	まつごまのり 松崎 法通	令和10年3月30日	239.0千円		昭30.3.31 合体 竹貫村、宮本村 昭32.4.1 町制施行 平6.4.1 郡界変更 東白川郡から石川郡							
総合計画等の策定状況												
町の概要												
(自然条件) 福島県の南、石川郡の南東、阿武隈山系の西斜面に位置している。標高は300~500mで起伏の多い丘陵が波状的に連なり、地質は花崗岩を母体として形成され、中生層及び古生層の竹貫式結晶片岩からなる。山地は杉の適地である。												
(産業・経済) 第一次産業における農業は米、山菜栽培、畜産が中心である。林業も盛んであり間伐、林道事業等を積極的に推進している。												
(観光・文化) 三株山、芝山はキャンプ場も整備され、多くのハイカーでにぎわう。春は越代のサクラやふるどの桜街道の花見、鎌倉岳遊歩道の散策、秋の八幡神社祭礼の「流鏝馬」、また県重要文化財の西光寺阿弥陀堂、木造地藏菩薩座像などがある。												
(伝統行事・伝統芸能) 800余年の伝統をもち、荘厳にして勇壮な鎌倉絵巻「流鏝馬(毎年10月第2日曜日とその前日)」、「馬場平のジャンガラ念仏(7月、8月13~14日、8月23日)」、松川八ヶ久保地区及び論田地区の「獅子舞(毎年10月第1日曜日)」などがある。												
(特産品) チェリートマト、山菜												
R8年度重点事業												
(震災以外)○道の駅ふるどの拡張事業 776百万円 〃 ○町営住宅等建設事業 177 〃 〃 ○道路改良事業(町単) 154 〃 〃 ○ふくしま森林再生事業 56 〃 〃 ○古殿小学校校舎設備改修事業 27 〃 〃 ○道路改良事業(補助) 27 〃												
一部事務組合等への加入状況												
須賀川地方広域消防組合 石川地方生活環境施設組合												
職数												
一般行政職員 人 技能労務職員 人 教育職員 人 その他 人 R8合計 76人 [企業職員、税務職員、福祉職員、看護・保健職員等のほか、1年を超えて勤務する定数外職員を含む。] 93人												
R4 R5 R6 R7												
職員総数 87人 84人 84人 82人												
主な地域開発区域指定状況												
辺地 過疎 準過疎 山村 豪雪 特豪 農産 特農 原発												

ふる古	どの殿	まち町	47														
財政(普通会計)																	
(1) 決算 (千円)																	
区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	実質単年度収支	積立金現在高	うち財政調整基金	地方債現在高	翌年度以降債務負担行為残高								
R4決算	5,062,892	4,927,842	135,050	125,981	▲183,258	3,467,124	1,119,896	5,671,261	7,286								
R5決算	4,599,467	4,449,340	150,127	149,432	▲2,179	3,629,028	1,094,266	5,225,250	26								
R6決算	4,910,966	4,750,149	160,817	143,808	▲203,512	3,778,479	896,378	5,056,735	0								
(2) 指標 ()は類似団体 (千円・%)																	
区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	健全化判断比率			資金不足比率										
				実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	比率	備考(事業名等)								
R4決算	(2,424,606) 3,033,088	(0.26) 0.22	(81.6) 83.8	-	-	(6.4) 8.5	-	-									
R5決算	(2,404,529) 3,023,696	(0.26) 0.21	(83.4) 88.9	-	-	(6.7) 9.1	-	-									
R6決算	(2,449,138) 3,071,575	(0.27) 0.21	(84.2) 92.2	-	-	(6.6) 8.5	-	-									
(3) 主な歳入 ()は構成比 (千円・%)																	
区分	地方税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	計										
R4決算	(10.1) 510,421	(48.3) 2,446,949	(11.7) 593,671	(4.6) 235,201	(7.6) 383,790	(17.6) 892,860	(100.0) 5,062,892										
R5決算	(11.1) 510,021	(53.6) 2,466,538	(7.1) 327,960	(5.9) 273,128	(6.1) 280,010	(16.1) 741,810	(100.0) 4,599,467										
R6決算	(9.9) 487,984	(50.3) 2,471,391	(6.7) 327,411	(4.3) 210,756	(11.1) 545,561	(17.7) 867,863	(100.0) 4,910,966										
(4) 主な歳出 ()は構成比 (千円・%)																	
区分	人件費	物件費	補助費等	扶助費	公債費	普通建設事業費	その他	計									
R4決算	(16.6) 817,462	(16.1) 793,307	(10.6) 524,804	(6.4) 314,108	(15.6) 766,847	(12.2) 602,479	(22.5) 1,108,835	(100.0) 4,927,842									
R5決算	(17.8) 790,715	(19.4) 862,088	(11.6) 514,425	(7.2) 319,776	(16.5) 734,225	(8.2) 362,832	(19.4) 865,279	(100.0) 4,449,340									
R6決算	(17.7) 841,360	(16.1) 766,370	(13.7) 651,597	(6.7) 318,899	(15.2) 723,148	(13.4) 638,862	(17.1) 809,913	(100.0) 4,750,149									
(5) 税の徴収率 (国民健康保険税除く) (%)																	
R6決算	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち		R5決算	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち							
	99.2	12.3	96.2	市(町村)民税	固定資産税		99.1	20.7	96.6	市(町村)民税	固定資産税						
公共施設整備状況																	
道路延長	都市公園面積	公営住宅等	幼稚園	認定こども園	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	短大・大学								
217,185m	0㎡	84戸	一園	1園	1校	1校	一校	一校	一校								
老人ホーム	公民館	集会施設	診療所	病院	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率	下水道普及率								
一所	1館	1,431㎡	1所	0院	74.9%	88.2%	100.0%	88.8%	59.7%								
公営企業(R6決算) ()は法適用企業にあっては経常損失、法非適用企業は実質赤字(千円)						主な郷土出身者											
(法適用) 水道事業(▲1,680) 農集排(▲3,179) 林排水(▲370)						(法非適用) 常磐大空(画家)、小浜亀角(画家)、野崎洋光(料理人)、桐生順平(モーターボートレーサー)、圓谷俊貴(チェンバリスト・指揮者)、窪木一茂(自転車競技選手)											
今後の主要課題						主な立地企業											
(震災以外) ○町の将来像「みんながいつも元気でいられる活気あふれる町」 ○目標1「誇りある豊かな心を育む町」 ○目標2「みんながいいきいと健やかに暮らせる町」 ○目標3「みんなが安心して暮らせる町」 ○目標4「豊かな地域力を活かす町」						(特色ある施策) 令和2年度を始期とする古殿町第7次振興計画は、10年後の目標を設定し、それに向けて必要な施策を実施していくバックキャスト方式を取り入れている。 (姉妹都市) 岩手県紫波町 ニュージーランド・ロドニー地方 ワークワース地区						アスター工業㈱、ジェービーシー㈱福島工場、(有)岡部縫製、(株)美屋古殿アネックス、(株)宇野製作所FD工場、(株)東京精密					